

自治会の目的

隣人愛と相互扶助の精神を基調とし、地域住民の親睦と団結を図りつつ社会環境の浄化向上に努め、明るく住みよいまちづくりに寄与する。

自治会報

発行 中志津自治会
発行責任者 会長 長谷川 稔
編集責任者 事務局長 黒木 高
所在地 佐倉市中志津 3-17-2
自治会センター内
電話 (043) 487-4894
<http://www.nakashidu.sakura.ne.jp/>



令和七年 中志津ふるさと夏祭り



長谷川会長による開会宣言

年々暑さを増す日本の夏...！
夏と言ったら『お祭り！』
暑い中、今年も皆様の期待、ご協力を得て、七月二十六日（土）・二十七日（日）に『中志津自治会 ふるさと夏祭り』が開催されました。
本年は猛暑を考慮し、子ども祭りは秋祭りへ、抽選会は歳末抽選会として時期をずらして開催することになりました。
また皆様お楽しみの隔年に開催している「花火大会」は、近隣住民のご理解、ご協力を得て、打上場所を下志津小学校校庭、加えて業者も変更し開催され、盛大に夏の夜空に打ち上がりました。
初日の午後五時に長谷川自治会長の開会宣言からはじまり、和太鼓、ロックソーランが披露され、各区、社協による屋台や休憩所、花火。両日とも行われた盆踊り、二日



目の目玉に大人・子ども御輿巡行。上志津中学校生徒も大人に混じって負けないパワーを発揮してくれました。
暑い中でも、ふれあい公園は人で埋め尽くされ、おおいに盛り上がった夏祭りとなりました。会場設営、準備等に関わってくださったすべてのの方々に感謝するとともに、お礼申し上げます。



盆踊り

盆踊り実行委員

中志津一区 阿部 和昭

今年も猛暑の中でしたが、櫓の飾り付けを自治会の役員の方々と盆踊り実行委員の皆さん、各区の協力者で頑張っていました。

盆踊り当夜は、花火もあってか大勢の人が集まって、花火も、盆踊りも大盛況でした。それもこれも一週間前の二日間、伊藤先生と佐藤先生が親切にご指導下さったお陰です。

又、子ども達の曲目が有るのは中志津祭りだけです。子供たちが大人と一緒に楽しく踊れるので、まつりが盛り上がるのでしょうか。

盆踊りの二日間、太鼓の皆さん、両先生、また実行委員の仲間たちが警護を万全に行なった結果、無事に終える事が出来ました。
有難うございました。



御 輿

上志津中学校二年 剣道部

齊藤 玲汰

お御輿が重くて肩が痛かったけど楽しかったです。私はお御輿をあんなに重たいと思っていなかったのので疲れました。休憩で食べたアイスがとても美味でした。周りの皆さんが優しく教えてくれて担ぎ方がわかりました。あんなに暑い中お祭りなどでお御輿を担いでいる人を尊敬します。お御輿について色々知ることができました。また来年も担ぎたいです。

実家は二区

現在は横浜在住の匿名希望

夏季休暇で久しぶりに中志津へ帰り、友人たちの誘いで御輿を担がせていただきました。かつて共に遊び回った友人たちは、今は子を育て、地元の仕事などを通して地域に恩返しをしています。尊敬の念を抱きました。子どもたちが将来この街で子育てをし、繰り返ししていくのだと考えた時に、とても暖かな気持ちになりました。この街に帰る場所があることの幸せを感じられるような、そんな素敵なお祭りや行事を作っていつていただけたらと思います。大好きな中志津へ またね！

花火大会



御礼文

関係者様より多額のご祝儀を頂戴しました。総額三十四万二千円の他に沢山のお祝い品をいただきました。紙面にて恐縮ですが、お礼申し上げます。



甲子園奮闘記

今年の暑い夏も、高校野球にくぎ付けになった方も多いのではないのでしょうか？八月五日に開幕した高校球児たちが熱戦を繰り広げた「第百七回 夏の甲子園」。出場した四十九代表校の中に、上志津中学校出身者が三名も出場しましたので紹介させていただきます。

そこで甲子園に出場された

船橋市立船橋高等学校

（千葉県代表）

田中 健人さん

明秀学園日立高等学校

（茨城県代表）

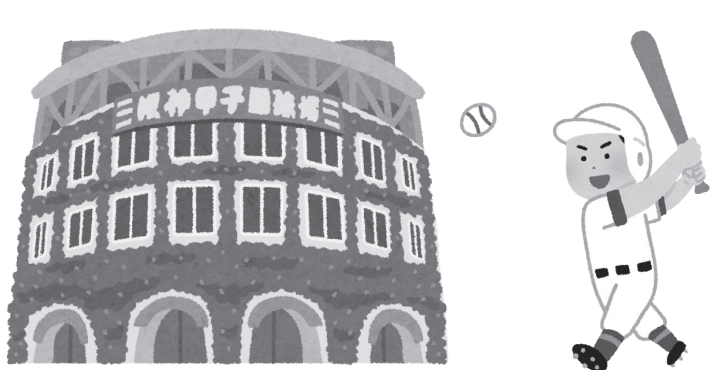
入江 将気さん

西日本短期大学附属高等学校

（福岡県代表）

山口 晃生さん

に、甲子園を楽しんでいただけでしたか？を伺いました。



船橋市立船橋高等学校

田中 健人

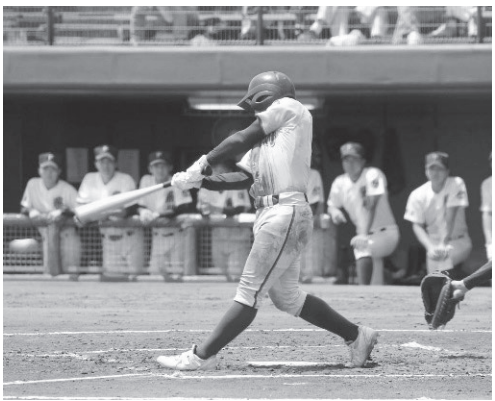
三年間目標にしていた甲子園に初めて立てた時は、嬉しさや「やっとここに立てたか」という気持ちでいっぱいでした。



明秀学園日立高等学校

入江 将気

実際甲子園に入り、テレビやニュースでは感じ取れない



た。この貴重な経験を活かして次のステージへ繋げていきたいです。



ほどの臨場感や熱気を肌で感じることができた。一人一人が今までの大会とは違い夏の集大成にかける思いが感じとれる大会となりました。



西日本短期大学附属高等学校

山口 晃生

甲子園を終えて

甲子園は夢の場所でした。ずっとテレビで見えていたグラウンド、満員のお客さんから注がれる拍手やスタンドの景色全てが自分の中に残っています。千葉から福岡に行つて甲子園が目標のチームが三期連続で甲子園に行くうちに日本一に目標が変わっていきまし

た。日本一を本気で目指して戦った甲子園はより特別な球

